

「なぜ勉強する？学ぶとは？」学校に来る意味を考える！（納所小教員）

知らない世界を知り、

たくさんの人と関わることで、自分の人生をより豊かにするため。

「お花きれいやね」と子どもが言った時、「そやね」と終わるのではなく、花が咲いていく過程や咲いた後、咲く時期など、「お花」というものにたくさんの知識があつた方が、**生きていて楽しい**し面白いです！それを一人ではなく、学校という場所で皆で考えて知ることができるのがすごく魅力のある事だと思います！

- 勉強することは心や考えを豊かにするため
⇒一つのものを見た時に、色々な思いをもてたり考えたりすることができる。
- 学校に来るのは集団生活を学ぶため
⇒協力すること、**支え合うこと**の大切さを学ぶため

◎学校という社会で学ぶため

- ・なりたい自分になるために、自分の力で生きていくための知識を得る。
- ・学校のきまりを守り、集団の中で生活することで、人として大切なことを学べる。
→人との関わり・集団での活動の楽しさや難しさ・解決力・**自己コントロール力**

豊かな生活を手にするため

- ◆様々な力を養うため
- ◆自分に**自信をもつため**
- ◆将来の選択肢を広げるため
- ◆新しい価値観や考え方を手に入れるため

- 満足して生きるための力👉
- ・学力・対人関係を構築する能力
- ・お金を稼ぐ力・生きるための知恵
- ・**人のために働くとする力等**をつけるため

学校に来る意味は、「**自分や他の人の人生を豊かにすること**」

だと思います。学校での学習の積み重ねが将来の自分の仕事や生き方に大きく影響すると思います。学べば学ぶほど、分からなかったことが分かるようになったり、知らなかつたことを発見できたりと人生の選択肢を広げていくことができます。また、家族以外の他の人の関わりを最初に学ぶ場所も学校です。たくさんの人と会って関係を築いていくことで自分や他の人の人生を豊かにできると思いました。